

人権啓発センター だより

平成27年4月

No.16

(公財) 高知県人権啓発センター



人事異動と新年度

平成27年度がはじまりました。官庁や多くの企業、団体では3月中に定期人事異動が発表され、それぞれの職場では、新たな職員体制で新年度の仕事がスタートしています。

この時期、昼時など、新採用とおぼしきフレッシュマン、フレッシュウーマンがお堀端を闊歩しています。はつらつとした若者の笑顔は、新たな年度への何かしらの期待を感じさせてくれます。

小さな所帯の我が職場でも今年は何人か職員交代がありました。

今、新任職員は自分の仕事を覚えこもうと一生懸命、周りは、新任職員に一日も早く職場に馴染んでもらえるようあれやこれやのお世話に、これまた一生懸命、ドタバタの真っ最中です。

新年度の職場の体制と仕事が軌道に乗るまでには今少し時間が必要ですが、このドタバタの中で得る知識と経験は、新任職員だけでなく役職員全員にとって得がたいものであり、我が職場の活性化につながっていくのだと思います。

(理事長 吉岡)

人権あれこれ

「志ん生」的流儀？

五代目「古今亭志ん生」を巡っての逸話。ずいぶん前にカーラジオで聞いた話なので正確ではないかもしれないが大筋はまちがってはいないと思う。なにせ、いままで鮮明に記憶に残っているくらいだから。

あるとき、志ん生師匠をちょっぴり困らせてやろうと、弟子が尋ねた、「師匠、この間もらった餅が腐っちゃったんです。どうして餅は腐っちゃうんでしょうかね？」。この問いに志ん生師匠は、「ばかやろう、てめえが早く食わねえからだ」とさりと答えた。

「どうして？」との弟子の問いに、通常は「どうしてかといえば、細菌が繁殖してなんとかかんとか・・・」といった因果関係で考えたり、説明してみたりする。それを志ん生は「どうしてかといえば」という枕詞を「ば

かやろう」と言い、「なんとかかんとか・・・」を「・・・しねえからだ。」としてしまった。理屈で説明するところを、生身の人間が生活している日常のところで解決してしまった。もちろん科学的合理的因果関係で物事を究明することも大切だが、時には、世の中のいろんな問題をこの「志ん生流儀」で忖度してみると、また新たな展望がひらけてくることもあるのじゃないのかなと思うことが近ごろ多くなった。

この志ん生に、「いじめって、どうしておこるんでしょうかねえ？」って聞いたら、「ばかやろう、止めるやつがいねえからだ」というような返答が返ってくるのかもしれない。あるいはもっと別のハッとさせられる返答が聞けるかもしれない。

(研修講師 竹村)



一押し本

『「人権の世間」をつくる』

著／奥田 均

解放出版社（1,500円＋税）

結婚差別において「世間が、世間が…」と理由づけをしようとすることを逆手に取り、発想の転換をし、差別していると世間に顔向けができなくなるという「人権の世間づくり」をめざす取り組みを提唱している。他にも土地差別問題などについても書いている。とてもわかりやすい書である。

（研修啓発課 山本）



ちょっといい話

メキシコ大使館は、永田町2丁目の国会近くという一等地に一戸建て。その土地は日本から提供されたもので、これは他に例を見ない好待遇だそうです。もちろん、これには深い理由があるのです。1874年、金星が地球に大接近するという天文学的な大イベントがありました。その観測に日本が適しているということで列強国は不平等条約を振りかざし、良い観測地点に早々と乗り込んできました。しかし、メキシコは国交がないために初動も遅れ観測地点を確保できませんでした。その時、日本は条件がよい

横浜の野毛山を提供し電力のサポートまで行いました。このことにメキシコが感激したことが、日本にとってはじめての平等条約（アジアを除く）となる日墨修好通商条約の締結に結びついたので。幕末に各国と結んだ不平等条約の改定を考えていた日本にとって、平等条約締結は悲願といえるものでした。メキシコ大使館創設の際に日本が一等地を提供したのは、感謝の気持ちの表れだったのです。

（事務局長 福田）



事業報告

ピックアップ

高知県立人権啓発センター管理運営事業

高知県立人権啓発センターの指定管理者として、県民のみなさまが快適に利用できるよう施設の管理運営を行っています。

平成26年度の施設利用状況（2月末現在）をご報告します。

●6階ホール利用状況

年115回 14,730人

●4階視聴覚室利用状況

年62回 1,202人

《じんけんライブラリー》



●5階じんけんライブラリー利用状況

・利用者数	354人
・貸出件数	図書 133冊
	ビデオ 41本
	DVD 228本
	パネル 14組

●5階じんけんライブラリー保有状況

・図書	7,326冊
・16ミリ映画	92本
・ビデオ	238本
・DVD	152本
・パネル	14組

（企画啓発課）

ランキング

平成26年度じんけんライブラリー貸出DVDランキング

平成26年度じんけんライブラリーDVD貸出ベスト3を紹介します。

この他にもたくさんのDVDがありますので、市町村をはじめ、企業や団体、そして県民の皆さまの人権啓発・研修等に、ぜひご活用ください。



1位 ほんとの空 【上映時間：36分】

内 容：高齢者、外国人、同和問題、原発事故に伴う風評被害の問題などのさまざまな人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげることを目的とした作品

2位 老いを生きる ―今日も何処かで高齢者のサインが！― 【上映時間：25分】

内 容：誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品

3位 新・人権入門 【上映時間：25分】

内 容：企業の人権担当者から取材した、実際の出来事を16のショートドラマとして構成しており、職場におけるあらゆる人権課題（障害者、外国人、パワハラなど）を考える作品

（企画啓発課）



Information お知らせ



講師派遣事業のご案内



市町村や地域住民、企業・団体などが実施するさまざまな研修や学習の場に、研修講師を派遣しています。

人権問題に関心がある、人間関係をよくしたい、自分を高めたい方に、多彩なメニュー、楽しいプログラムの研修をご提供します。新年度となりました。新規採用職員・社員を対象にぜひこの機会に研修会を行ってみてはいかがでしょうか。

●身近な人権課題

- ・同和問題
- ・女性
- ・子ども
- ・高齢者
- ・障害者
- ・HIV感染者等
- ・外国人
- ・犯罪被害者等
- ・インターネットによる人権侵害
- ・災害と人権

●楽しいプログラム

- ①ウォーミングアップ
- ②研修内容（参加体験型学習）
クイズ・すごろく・ゲーム、新聞記事・教材文、
漫画・写真・歌、ロールプレイ、講話・体験談、
ビデオ視聴 など、いろいろな手法で学びます。
- ③グループ協議
- ④全体発表
- ⑤まとめ

（研修啓発課 山本）

※実施要項や申込書はホームページからダウンロードできます。
詳しくは下記までどうぞお気軽にご相談ください。



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
- ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- パネル
1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。
※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
(送料は利用者のご負担となります)



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>